

## 富士通川崎合唱団、合唱コンクール神奈川県大会で価値ある銀賞受賞！



演奏終了後、「やりきった！」晴れ晴れした笑顔 於：神奈川県立音楽堂ロビー

富士通川崎合唱団は、神奈川県立音楽堂にて8月31日（日）に開催された「第57回神奈川県合唱コンクール」（主催：神奈川県合唱連盟・朝日新聞社・全日本合唱連盟関東支部・神奈川県立音楽堂）に出場し、大学職場一般部門において銀賞を受賞しました。

### 【演奏内容】

[課題曲] 《G1》 Salve Regina（慈しみの元后） 作曲：Josquin des Prez

[自由曲] Lux fulgebit（光は輝く） 作曲：Javier Busto

0 Nata Lux（光より生れし光） 作曲：Guy Forbes

[指揮] 加藤雅子

「合唱コンクール」は、今回出場した県大会、10月中旬の関東支部大会、そして11月下旬に行われる全国大会と、毎年約3ヵ月にわたって開催されます。昨年度から審査の枠組みが大幅に変更になり、一昨年度まで私たちがエントリーしていた「職場部門」と、従来別々であった「一般部門」とが統合され同一部門として審査されることとなり、上位大会への進出は以前にも増して競争が激化しています。さらには、昨年度まで該当していた、「シード賞」（前年の全国大会に出場した団体に与えられる関東支部大会出場資格付きの賞）の資格がなくなり、今年は当団にとって本当の意味でゼロからのスタートとなりました。

そのような中、今年は演奏曲を早期に完成させるべく、5月に春合宿で集中して3曲をたたき込み、6月に川崎市・神奈川県両方の合唱祭に連日出演、課題曲・自由曲ともホールでの本番にかけたり、その後も休日を利用した集中練習などかなり気合いを入れてこの県大会に臨みました。

さて、話は、1週間前に遡ります。

8月24日(日)は大会1週間前、最後の休日集中練習でした。

2日前に某団長より「ここで一発団員士気高揚を」という密令を受けた、「悪匠(わるだくみ)」らは驚異の団結力で「決起」のための企画を立ち上げました。

“頂(いただき)へ！ 一前橋なんてメじゃないぜ、香川の全国大会に行って「金賞」獲るぜ。”がコンセプト。団員のところをひとつにして盛り上げることを目的に、ヨガを利用した「リラックスし前向きになるためのメソッド」を行い、練習の合間には、団長差し入れの美味しいおやつをいただきながら団結の「鏡開き」をしました。

樽の中身は酒ではなく、のどあめの付いたメッセージカードでしたが、団長と指揮者の加藤さんが手ずから団員ひとりひとりにそれらを渡すという、演奏曲の内容にも通じる部分のある「聖体拝領」を意識したものです。



思わず笑っちゃうヨガメソッド



20代戦隊の決意表明！



団長と指揮者、初めての共同作業



8種のミッションがあります

各人、それぞれのカードに書かれた自分のミッションを一斉に叫びながら、コンクールへの意気込みを新たにしました。

さて、本番当日です。数日来、ちょっと前の猛暑がうそのように 8 月にしてはちょっと涼しい、雨が降りそうな天気です。



当日は、早朝 8 : 00 より練習開始

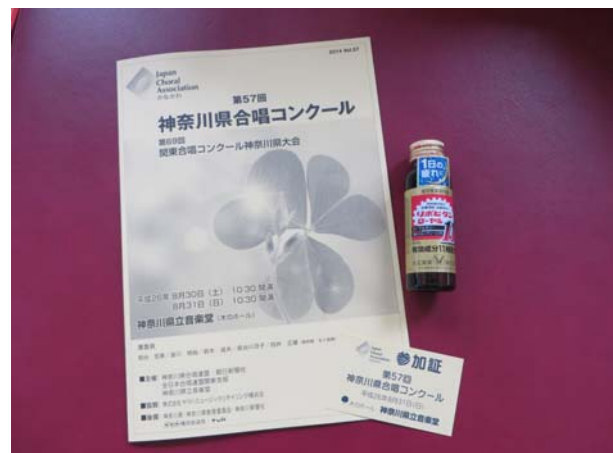
今年当団がエントリーしたのは、大学職場一般部門の「混声合唱の部」。団員人数が 25 名以上という条件です。現在出場可能人数はぎりぎりの 26 名ですので、当日 2 人欠場すると失格（審査対象外）となります。

そういったこともあり、例年よりも事前の健康管理には細心の注意を払ってきました。

まずは朝、全員の元気な顔が揃ってひと安心。12 時ごろの出演なので集合は 8 : 00 と普段の出勤日より早い時刻でした。



桜木町駅に新出口が



プログラムと参加証と栄養剤

武蔵小杉のユニオンビルで2時間ほど練習をしてから、会場へ移動です。JR桜木町駅がリニューアルされて、会場となる神奈川県立音楽堂の最寄りの出口ができており、今までより少し近く感じました。音楽堂に到着すると、毎度ながら神奈川県合唱連盟のスタッフの方々の手際のよい誘導に導かれ、更衣～リハーサルとあれよあれよという間に本番です。



リハーサルで良いイメージを持ったまま、いざ本番へ！

団としては何度も演奏の経験があるホールではありますが、この日の緊張感は格別でした。しかし独特の緊張感はあるながらも、すでに同じ曲でステージを踏んでいることは非常に心強く感じられました。

会場全体に声を届けようということ、課題曲と自由曲の間に頭をタイムスリップさせること、自由曲1曲目は「ワックワク！」2曲目は「キッラキラ！」なイメージ、弱いところは「たのしいヒソヒソ話」、歌詞の内容をたどって演技する、などなど、練習で繰り返し指導されてきたことを意識しながら、比較的落ち着いて満足度の高い演奏を披露することができました。

全団体の演奏終了後、団員が祈るような気持ちで臨んだ表彰式、結果は・・・「銀賞」。

昨年度まで8年連続で進出していた関東支部大会への出場権を獲得することは叶わなかったくやしき半分、しかしこれだけの強豪と競り合っただけの価値ある銀賞を受賞したうれしさ半分で結果を受け止めました。

合唱王国とも言われる神奈川県において、他のレベルの高い団体と勝負し、刺激を受けて私たちが年々成長できていると感じています。仕事との両立という時間的制約の中で、今後も工夫しながら練習に励み、お互いに協力し合い、稀少な職場合唱団として富士通の名を浸透させていきたいと思ひます。

2015年5月30日(土)川崎工場隣接の「エポックなかはら」にて第9回演奏会を開催します。応援くださる皆さまには、ぜひ今から予定を入れておいていただきたく、よろしくお願いいたします。



銀賞の賞状授与



くやしき半分、うれしき半分。次へ向かって！

【記事・写真提供：富士通川崎合唱団（アルト）駒澤由佳】